

北海道剣淵高等学校 本校の概要

本校は、令和元年度に創立68周年を迎える町立1クラスの総合学科の高校であり、「農業国際系列」と「生活福祉系列」の2系列を設定しています

農業国際系列では農業後継者の育成、安全・安心な食生活の促進に関わる人材の育成、農業教育を通して現代社会に必要な課題解決能力の育成をしています。

生活福祉系列は超高齢化社会を迎えるこれからの日本に対応できる人材、介護の視点から福祉を支える人材の育成を目指しています。

また本校では2年次と3年次で委託実習（インターンシップ）があります。農業国際系列は3年次では、海外農業実習（約45日間）、または道内農業実習（約20日間）を行い、2年次で剣淵町及び近隣市町村で産業現場実習（約10日間）、農家委託実習（約10日間）を行います。

生活福祉系列では、3年次では福祉実習（27日間）を行います。2年次では2回に分け22日間の施設実習を行います。本校は生活福祉系列を選択すると卒業時に介護福祉士国家試験受験資格が得られる高校です。（厚生労働省認可、道内では5校のみ。）昨年度の本校の介護福祉士国家試験合格率は82%でした。今年度も全員合格を目指し取り組んでいきます。（全国合格率は毎年60～70%ほど）

本校PTAの活動状況



今年度7月5日（金）に視察研修に行きました。三笠市のホクレン肥料株式会社、そして岩見沢農業高等学校を視察し、見聞を深めました。ホクレン肥料株式会社では肥料の製造過程の見学。そして岩見沢農業高等学校では岩見沢農業高等学校の教育カリキュラムについて説明をしていただき、その後農場見学をさせていただきました。



また、生徒と関わる活動としては、毎年5月に町内に花苗を植える奉仕活動、そして9月に行われる学校祭へのPTAとしての出店を行っています。また、定期的な生徒指導部の列車添乗指導をPTAと抱き合わせて行っています。今後も生徒と保護者、地域を繋いでいく活動をしていきたいと考えています。